

2017-10-28(土)

## 結婚式のご祝儀袋を再利用してみる

自分の結婚式でもらったご祝儀袋、捨てるのはもったいないと思って取ってあつたので友達の結婚式で再利用してみることにした。

ご祝儀袋は、結婚式や披露宴には欠席したけどお祝いをくれたケースも含めて私の関係だけで28個いた。その中から袋に直接字が書いてある物や、しわや汚れが気になる物、水引の飾りが鶴とかで私の好みでない物を除いて、また使えそうな5個だけ取っておいた。旦那さんは、彼の関係でいたいたご祝儀の袋はすぐ捨てていた。今回私の友達の結婚式があつて呼ばれたので、取ってあつたご祝儀袋を再利用してみた。

取ってあつたのは外袋と水引飾りのセットで、文字が書いてある内袋や短冊は捨ててしまった。そこで、おじいちゃんちの遺品の中から見つけて取ってあつたお祝用の袋に付いている内袋と、外袋をハサミで切って短冊を作つて、新品のご祝儀袋と同じ体裁にした。それを包む“ふくさ”は持つてないので、その新品のお祝用の袋が入つていた透明のフィルム袋に、後は渡すだけのご祝儀袋を入れて持つて行つた。渡す前にフィルム袋から出せばいい。

いたいたご祝儀袋の中には、始めから再利用を前提に紙の袋でなくてハンカチ製の袋でくれた人も2人いた。最近のご祝儀袋をネットで探してみると、水引飾りが猫の形になつたり、オリジナルをオーダー出来たり、漫画のキャラクターグッズとして発売されてたりと様々な物がある。ハンカチ袋はどう再利用するか決められずにそのまま取つてある。

自分がもらったご祝儀袋を再利用することに全く抵抗がないと言つたら嘘になるけど、こんな綺麗な物を捨てるのはもつたないし、手を加えて新品と同じような体裁にして使うなら、これは「あり」なんじゃないかなと思った。



著者 minima

アラフォー女子。グリーンコンシューマー東京ネット会員。

この連載をまとめた電子書籍「[エコな買物がしたい](#)」がAmazonにて販売中。